

貸借対照表

平成 22 年 9 月 20 日現在

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 【流動資産】 | 【 76,663】 | 【流動負債】 | 【 106,424】 |
| 現金及び預金 | 5,584 | 支払手形 | 19,138 |
| 売掛金 | 26,873 | 設備支払手形 | 12,953 |
| 商品 | 68 | 買掛金 | 14,538 |
| 製品 | 96 | 短期借入金 | 42,600 |
| 原材料 | 6,531 | 未払金 | 3,005 |
| 仕掛品 | 37,047 | 未払費用 | 3,025 |
| 貯蔵品 | 408 | 預り金 | 573 |
| 前払費用 | 51 | 未払法人税等 | 182 |
| 【固定資産】 | 【 166,207】 | 賞与引当金 | 3,154 |
| (有形固定資産) | (164,605) | 未払消費税 | 2,803 |
| 建物 | 28,714 | リース債務 | 4,450 |
| 構築物 | 1,076 | 【固定負債】 | 【 103,696】 |
| 機械装置 | 26,146 | 役員退職慰労引当金 | 2,012 |
| 車輛運搬具 | 57 | リース債務 | 97,005 |
| 工具器具備品 | 1,109 | 退職給付引当金 | 4,677 |
| リース資産 | 96,625 | | |
| 土地 | 10,876 | 負債の部合計 | 210,120 |
| (無形固定資産) | (22) | 純資産の部 | |
| 電話加入権 | 22 | | |
| (投資その他の資産) | (1,579) | 【株主資本】 | 【 32,751】 |
| 出資金 | 662 | (資本金) | (45,000) |
| 差入保証金 | 89 | 資本金 | 45,000 |
| 長期貸付金 | 928 | (利益剰余金) | (Δ12,248) |
| 貸倒引当金 | Δ100 | 繰越利益剰余金 | Δ12,248 |
| | | 純資産の部合計 | 32,751 |
| 資産の部合計 | 242,871 | 負債及び純資産の部合計 | 242,871 |

個 別 注 記 表

自 平成 21 年 9 月 21 日
至 平成 22 年 9 月 20 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。
商品・製品・原材料・仕掛品は総平均法、貯蔵品は最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定率法、ただし、建物の一部は定額法

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により計上するほか、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担分を計上しています。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金 当社の役員退職慰労金の支給に備えるため役員規定に定める退職慰労金に係る規定に基づく期末要支給額を引当計上したものであります。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。